

荒川第二・三調節池内の土地利用

荒川第二・三調節池内は、田んぼや公園など、様々な形で利用され、緑豊かな自然的空間が広がっています。



上空から見た荒川第二・三調節池



フットサル場



野球場（西遊馬公園）

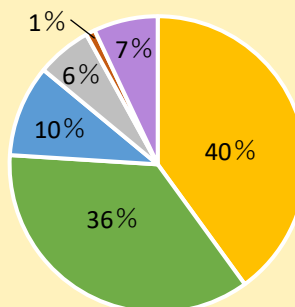


農地

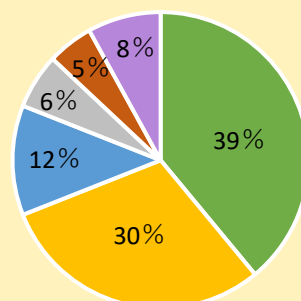
荒川第二・三調節池の土地利用

荒川第二・三調節池ともに、土地利用の割合は、田んぼと公園・緑地が約70%を占めており、緑豊かな自然的空間が広がっていることがわかります。

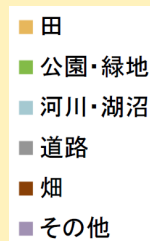
田んぼと公園・緑地以外にも自転車道や寺社仏閣、サーキット場など様々な形で利用されていて、人々の生活と深くかかわり合っています。



第二調節池の土地利用割合



第三調節池の土地利用割合



▶ 大久保農耕地

大久保農耕地は、埼玉県さいたま市の荒川^{あら}河川敷^{しき}左岸^{ていぼう}堤防^{ちやうせつち}内^{ちやうせつち}外^{ちやうせつち}に位置する区画整理が進んだ農耕地です。荒川第二調節池の整備区域には、この農耕地が3区画あります。

大久保農耕地は、昔ながらの、水田や畑、休耕田、休耕畑、素掘りの水路、^{やしきりん}屋敷林などが複雑に入り組んだ農地で、このような多自然農地は多様な環境を生み出し、多様な生き物の生息空間を生み出しています。

また野鳥^{とらい}の渡来地ともなっているため、野鳥観察スポットとしても知られています。



大久保農耕地

▶ さいたま市 荒川総合運動公園

荒川第二・三調節池の整備区域内には、西遊馬公園、宝来運動公園、東京健保組合大宮運動場（大宮けんぽグラウンド）、荒川総合運動公園の4つの公園・緑地があります。

その中でもさいたま市 荒川総合運動公園は、1989（平成元）年に、河川敷に整備された広さ約25ha^{ヘクタール}の大きな公園です。テニスコートやサッカー場、野球場などが完備されている緑豊かな広々とした公園で、晴れた日には富士山を眺望することもできます。国土交通省関東地方整備局の「関東の富士見百景」にも選定されています。



荒川総合運動公園

▶ 薬師堂のマキ

荒川第二調節池内には、薬師堂があり、この薬師堂の正面に、イチヨウと対をなしてマキが植えられています。標準和名は、イヌマキといい、マキ科の比較的暖かい地域に自生する常緑樹で、庭木としても好まれている樹木です。

このマキは「薬師堂のマキ」という名称で、1964（昭和39）年7月11日に浦和市（現さいたま市）指定天然記念物に指定されました。指定時の目通り幹回り2.13m、高さは17.8mに及び、この地方のものとしては、かなりの大木と言えます。枝張りも良く、姿も自然のままで美しい木です。



薬師堂のマキ

アクセス

薬師堂のマキ

交通：JR「浦和駅」下車、国際興業バス「大久保浄水場」行き「中島」下車、徒歩約25分

住所：埼玉県さいたま市桜区塚本675

大久保農耕地・さいたま市 荒川総合運動公園

交通：JR「浦和駅」下車、国際興業バス「大久保浄水場」行き「大久保浄水場」下車、徒歩約15分

住所：埼玉県さいたま市桜区大字在家591



地図：国土地理院 平28情報第325号